

20012 生活と国際経済 b Life and International Economy		1 年次～ 前期 2 単位	
担当者	井上 詔三	履修可能学科	E Pe Pc C W F N
		関連資格	教職 (C・W・F)
サブタイトル	International Economy for Quality of Life		
授業内容 ・ ねらい	フランス製のブランド品は、パリや東京で買うよりローマで買うほうが安い場合があるのは、なぜでしょうか。私たちが口にするかなりの食材は、中国初め海外から取り寄せられていて、国産ではありません。政治上の国境を越えた経済活動が効率よく機能しなければ、私たちの生活はすぐにいきづまるほど、日本経済は世界経済に組み込まれています。市場の機構を理解したうえで、国際経済学の基礎概念になじみ、経済のグローバル化が私たちの生活にもたらすベネフィットとコストを考察する能力を養います。		
授業計画	第1回 生活者の視点と経済学 第2回 市場の機構 第3回 日本の物価 第4回 貿易の動向 第5回 食料自給率 第6回 貿易の理論1 第7回 貿易の理論2 第8回 中間ふりかえり	第9回 第10回 第11回 第12回 第13回 第14回 第15回	世界貿易機関とブロック経済 アセアン経済の躍進とアジア通貨危機 飛躍する中国経済 日本経済のグローバル化 貿易と直接投資 豊かさとは まとめ
教科書 参考書	特定の教科書は指定しません。 参) Gerber, J. 2010. International Economics 5th edr, Pearson. 『通商白書』 (各年) . ホームページ http://www.meti.go.jp/ 他.		
評価方法	クラスでの参加, ミニ課題, 期末レポートの総合評価による.		
事前準備学習 履修条件等			